



水土里情報を災害復旧事業に活用した事例について紹介します。

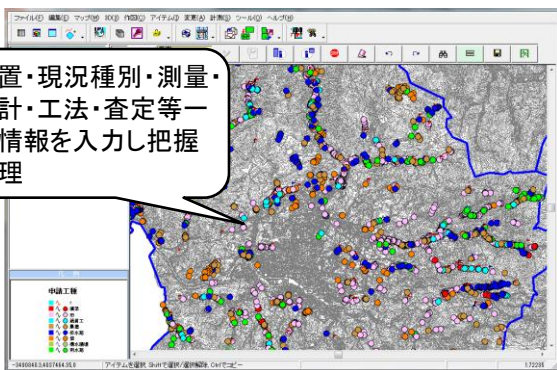
今回紹介する団体：水土里ネット大分、日田市

取組概要

内容：平成24年7月の九州北部豪雨災害において、水土里情報利活用促進事業で整備した背景図(オルソ及び地形図)と農地筆図を活用し、被災箇所位置から測量・設計、査定の一連を整理。併せて、市情報(農地所有者情報等)との連携により、補助率増嵩申請図面作成に活用。

- 経緯：①平成24年8月：初期調査段階で約2600箇所という膨大な被災箇所の復旧に向けた状況把握・一連管理・効率性が求められ、水土里ネット大分にて被災位置情報を水土里情報システムに入力し、市と情報共有。
- ②平成24年9月：限られた期間・人員での作業のため、増嵩申請書作成においても同様、効率的かつ統一的な手法が求められ手法を検討。
- ③平成24年10月：①の被災位置情報と市他部署情報(所有者等)を共有し、市職員が補助率増嵩申請書(字切図)を効率的に作成。

位置・現況種別・測量・設計・工法・査定等一連情報を入力し把握管理



①災害位置図(査定申請工種別表示)

被災箇所・着色・記号など入力をボタン化し、効率的に作成



③補助率増嵩申請字切図

期待される効果

- ①短期間で個別・全体の一元かつ効率的な情報整理と査定に向けた進捗管理
- ②補助率増嵩申請字切図の効率的作成と水土里を活用し過去申請情報の共有が可能

今後の活用予定

実績のある本取り組みを県内へ勧め、災害発生時の迅速な対応と査定・増嵩申請業務の効率化が可能となるよう、水土里情報システムの利用促進を図る予定。

■お問い合わせ先

大分県土地改良事業団体連合会 事業部農村整備計画課 097-536-6631(代表)
農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、溝添) 03-6744-2212(直通)